

## 平成22年度 国際子ども図書館ホームページ利用者アンケート集計

実施期間 2010年7月1日～2010年9月30日

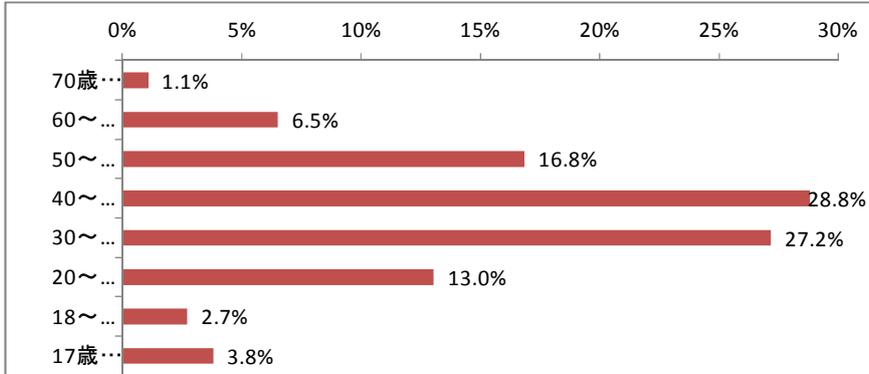
有効回答数 187件

### 国際子ども図書館ホームページの利用者像

#### 1. 年齢

40代の利用者が28.8%で最も多く、30代と40代で半数以上を占めていますが、広く各年代の方にご利用いただいています。

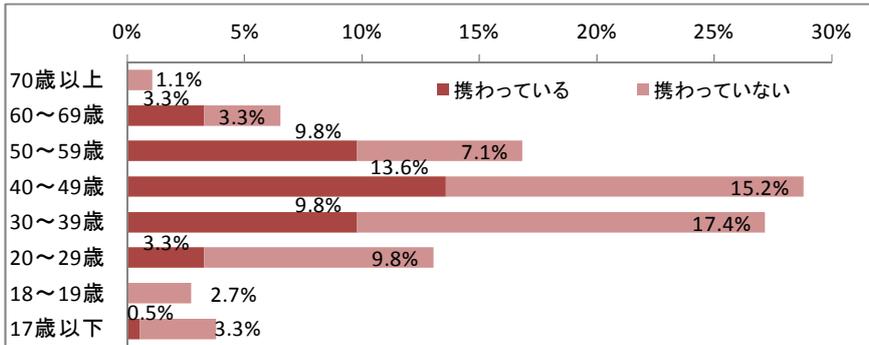
有効回答数：184



#### 年齢別 児童サービス

40代以上の利用者の半数は、図書館、学校や文庫等で、読み聞かせなどの子どもたちへのサービス(児童サービス)に携わっています。

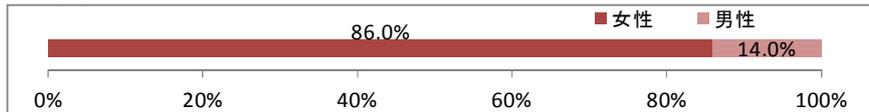
有効回答数：184



#### 2. 性別

86.0%の利用者が女性です。

有効回答数：178

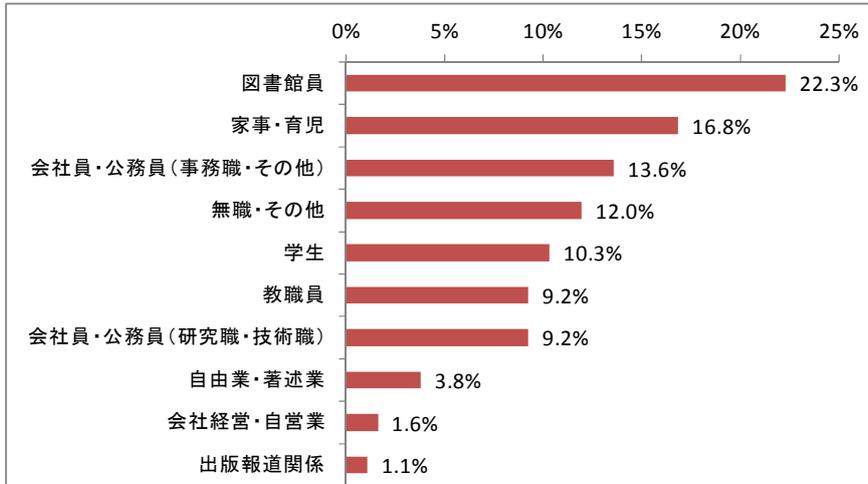


### 3. 職業

図書館員の方が22.3%と最も多くなっていますが、さまざまな職業の方にご利用いただいています。

※その他には、図書館パート(2)、読書アドバイザー、学習塾指導員パートなどが含まれます。

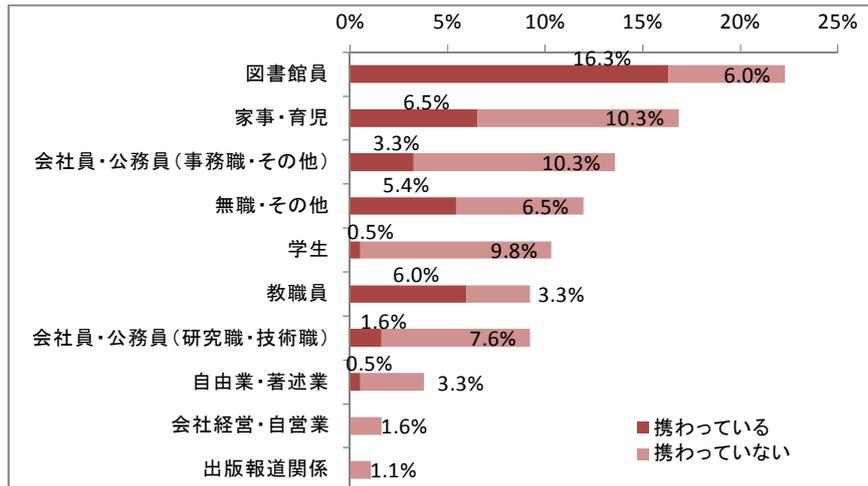
有効回答数：184



#### 職業別 児童サービス

図書館員の方の7割以上、教職員の方の6割以上は、児童サービスに携わっています。

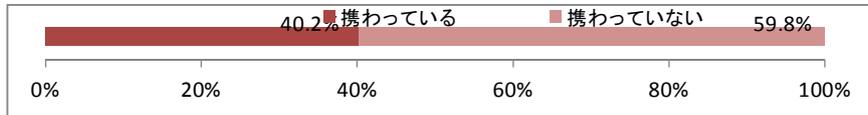
有効回答数：184



### 4. 児童サービス

40%以上の方が、児童サービスに携わっています。

有効回答数：184

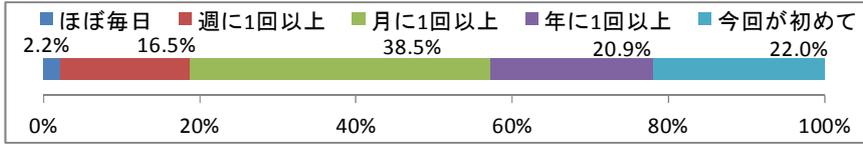


国際子ども図書館ホームページについて

5. 最近1年間の利用頻度

月に1回以上利用する方が38.5%で最も多いですが、年1回以上利用する方が20.9%、初めて利用する方が22.0%と、かなり多くなっています。

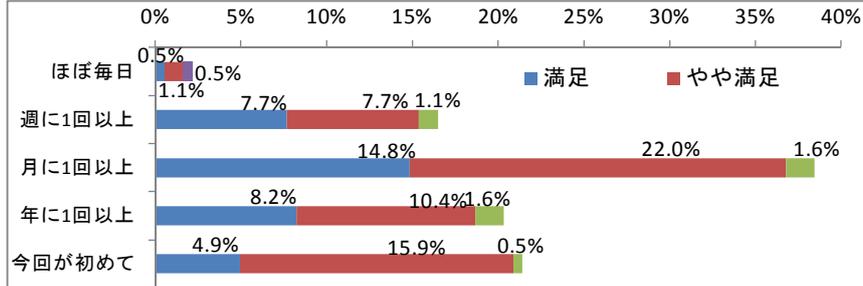
有効回答数：182



最近1年間の利用頻度別 国際子ども図書館ホームページ満足度

国際子ども図書館ホームページの満足度は、「満足」「やや満足」で94.5%を占め、全体的には高いといえますが、初めて利用する方の満足度はやや低いです。

有効回答数：180



6. 主な利用目的

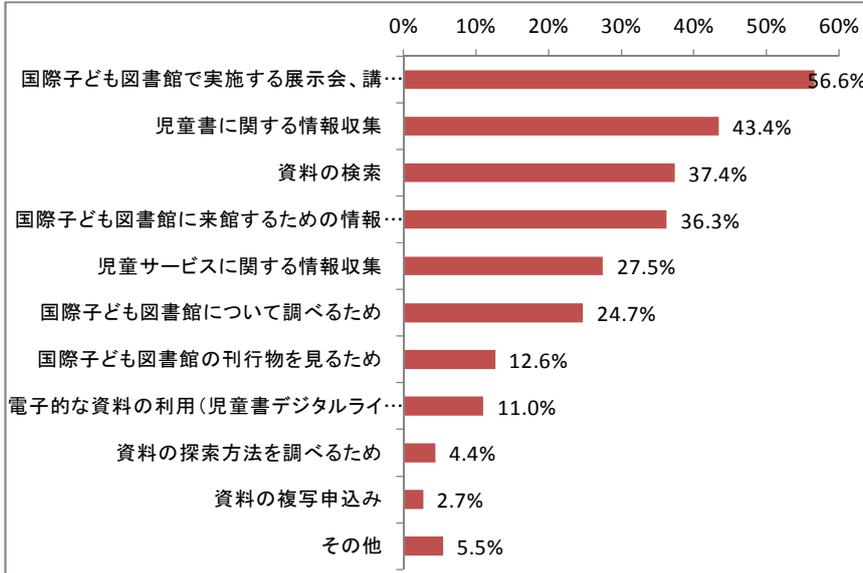
半数以上の方が、「国際子ども図書館で実施する展示会、講演会やイベントの情報収集」を目的の一つに挙げています。

「児童書に関する情報収集」や「児童サービスに関する情報収集」など、情報収集を目的とする方が多いです。

37.4%の方が「資料の検索」を目的の一つに挙げている一方で、「資料の複写申込み」を目的とする方は2.7%と少ないです。

※「その他」として、大学での授業準備のための情報収集、HPの比較研究などがありました。

有効回答数：182（複数回答可）

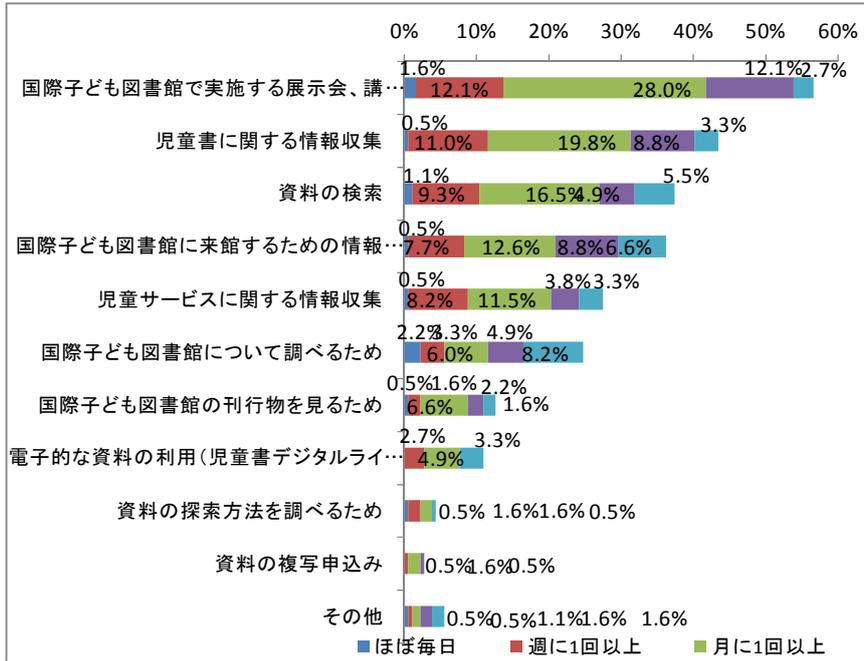


主な利用目的別 最近1年間の利用頻度

利用頻度の高い方は、「児童書に関する情報収集」や「資料の検索」、「児童サービスに関する情報収集」が多いです。

利用頻度の低い方は、「国際子ども図書館に来館するための情報収集」や「国際子ども図書館について調べるため」が多いです。

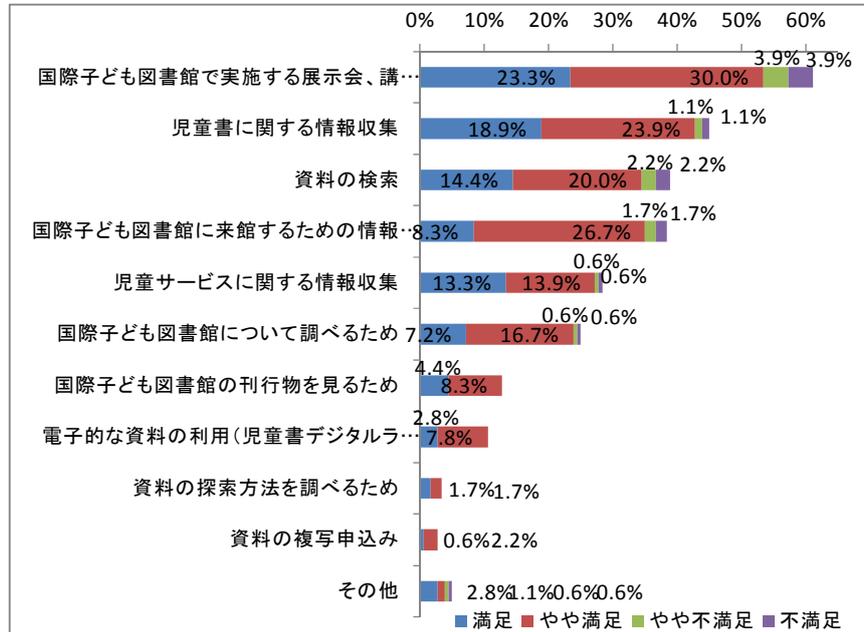
有効回答数：182（複数回答可）



主な利用目的別 国際子ども図書館ホームページ満足度

国際子ども図書館ホームページ全体について、「やや不満足」「不満足」の方は、「国際子ども図書館で実施する展示会、講演会やイベントの情報収集」や「資料の検索」を利用目的の一つに挙げている方が多いです。

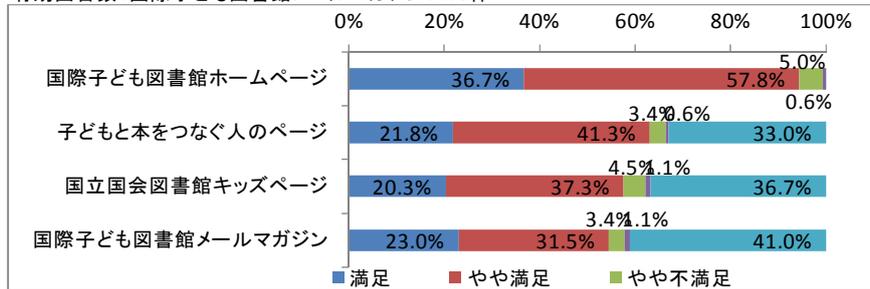
有効回答数：180（複数回答可）



7. 国際子ども図書館ホームページ及びコンテンツ別満足度

国際子ども図書館ホームページ全体については、「満足」「やや満足」で94.5%を占めています。  
国立国会図書館キッズページについては、「やや不満足」「不満足」の方が5.6%います。

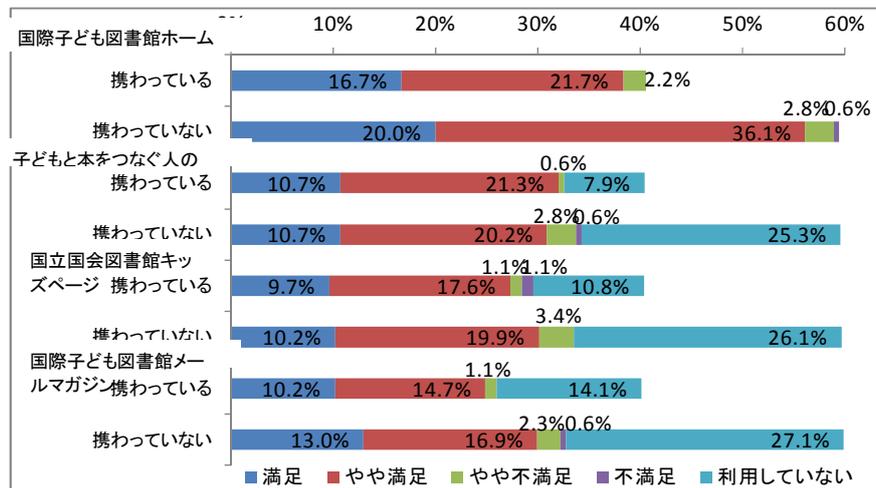
有効回答数：国際子ども図書館ホームページ：180件  
有効回答数：子どもと本をつなぐ人のページ：179件  
有効回答数：国立国会図書館キッズページ：177件  
有効回答数：国際子ども図書館メールマガジン：178件



児童サービス従事者別 国際子ども図書館ホームページ満足度

児童サービスに携わっていても、子どもと本をつなぐ人のページを利用していない人が7.9%、国立国会図書館キッズページを利用していない人が10.8%います。

有効回答数：国際子ども図書館ホームページ：180件  
有効回答数：子どもと本をつなぐ人のページ：178件  
有効回答数：国立国会図書館キッズページ：176件  
有効回答数：国際子ども図書館メールマガジン：177件



### 8. 主なアクセス方法

国立国会図書館ホームページからのアクセスが38.3%と多いです。

※「その他」として、博物館、美術館サイト(2人)、図書館サイト(2人)、授業(2人)などがありました。

有効回答数: 180件

